

メンター（指導者）養成研修

対象者：メンター担当者（中堅社員、等）

① 研修目的

- メンター制度の概要・メンター制度が必要とされる背景等を理解し、メンターとしてのあり方・心構えを醸成する。
- 新規採用社員の状況に応じた教育・指導法、及びメンタリングに求められるスキルを理解し、習得する。
- 事例を基に、指導のノウハウを共有し、現場での応用力を高める。

② 研修の概要及びポイント

【メンターとしてのあり方を整える】

- ① メンター制度及び導入背景の理解
- ② メンターの役割
- ③ メンターに求められる「意識・知識・技能」

【ワーク：ライフラインチャート】

メンターに求められる「他者への関心・自身の実績
・コミュニケーション力等を総合的に体感的に学ぶ。

- 主な狙い）自身の簡単なキャリアの棚卸
- ・他者への関心/リスペクトを高める
 - ・シェア時における傾聴&質問の実践
 - ・相手を理解することへの気づき

【新人指導に必要な意識・知識を学ぶ】

- ① 仕事の教え方
- ② 新人にもとめるもの
- ③ 面談の仕方

【メンターに求められるコミュニケーション力】

- ① コーチングスキル（質問・相手の思考整理）
- ② 承認/勇気づけ/伝達スキル

【事例で学ぶ】

- ① 同じ間違いをする・関係がぎくしゃくしてきた（仮）

【目標設定】

- ① 明日から意識する行動目標の立案

③-1. 研修内容(午前)

	概要(午前)	詳細、得たい成果
9:00	<p>1. 研修の目的と全体像 【講義・グループワーク】</p> <p>1) 研修の目的</p> <p>2) 研修を有意義なものするための受講の心構え</p> <p>3) アイスブレイク「グッド&ニュー」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 研修の目的及び受講の心構えを理解し、研修を受講するにあたっての積極的な姿勢を醸成する。 • 「グッド&ニュー」では、24 時間以内に感じた良かったことを発表する。前向きな姿勢の醸成と心理的安全性を体感する。
	<p>2. メンターとしての心構えと自信を構築する 【講義・グループワーク】</p> <p>1) メンター制度の理解と役割の再確認</p> <p>2) メンター制度の理解</p> <p>3) メンター制度のメリット</p> <p>4) ワーク「自身がメンティの時代のメンターの存在」 「あなたが描く理想のメンター像」</p> <p>5) メンターの役割</p> <p>6) 自身のメンター度チェック</p> <p>7) メンターに求められること</p> <p>8) メンタリングのプロセス</p> <p>9) ワーク「ライフラインチャート」</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライフラインチャートの作成 • ライフラインチャートのグループ内発表&質疑応答 • 当ワークでの気づきのシェア • 当ワークの狙いとフォロー <p>10) 物事の捉え方について 「ABC 理論」「カラーバス効果」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • メンター制度を、導入された背景も含めて理解することにより、メンターという役割を担っていることの重要性を再確認する。 • 自身のメンティ時代を振り返ることにより、メンターの役割を再確認する。また理想のメンター像をシェアすることにより、より良いメンターになるための観点を磨く。 • メンターの役割、自身のメンター度、メンターに求められること、メンタリングのプロセスを学び、改めてメンターとしてのあり方を整える。 • ライフラインチャートとは、自分がこれまで過ごしてきた道筋を、自分が感じた「満足度・充実度」の高低によって1本の線で表現したものの。 • ワーク:ライフラインチャートの狙い) <ul style="list-style-type: none"> • 簡単なキャリアの棚卸 • 物事の捉え方の重要性の認識 • 誰もが山あり谷ありであることの気づき • 他者への関心を高める • 人へのリスペクトを高める • シェア時における傾聴&質問の実践 • 相手をしっかりと理解することへの気づき。
12:00		

